

部会等運営委員会報告

木村 敦 (JAEA)

2024/9/12

1. 今年度の主な活動（運営委員 16 名）

- 秋の大会における企画セッション
シグマ調査専門委員会[核データ部会共催]
「将来の核データ ～次世代 JENDL に向けて～」
2024 年 9 月 12 日(木) F 会場
- 核データ研究会
日程： 2024 年 11 月 14 日(木)～11 月 15 日(金)
開催場所：熊取交流センター すまいるズ煉瓦館（大阪府 熊取町）
- 年会・大会[予定]
2025 年春の年会 2025 年 3 月 12 日（水）-14 日（金）
オンライン開催
2025 年秋の大会 2025 年 9 月 10 日（水）-12 日（金）
北九州国際会議場、AIM
2026 年春の年会 未定
2026 年秋の大会 2026 年 9 月 9 日（水）-11 日（金）
愛媛大学城北キャンパス
- 核データニュース発行（No138 1 件）
- ニュースレターの発行（187 号 1 件）
- 部会賞 学術賞 1 件、奨励賞 1 件

2. 部会会員数

209 名（2024/5/30）-7 名

参考：

前回集計： 216 名（2023/5/29）

前々回集計： 215 名（2022/6/1）

3. 部会等運営委員会での関連する主な議事内容（第3回部会等運営委員会）

（3）今後の年会・大会

・「2025 春」以降の年会開催形態再検討について

林委員長から「2025 春」以降の年会開催形態再検討について、紹介された。

林委員長から、参加者や出展機関からは対面開催を強く望む声が多いのは承知しているものの、元々の開催循環議論は会議運営する現地の負担低減であったこと、2025 春は会期が近いため、対面に戻すと開催支部での混乱が予想され、これからの会場選定も難しいことから、2025 春はオンラインで実施として理事会に提案することが示され、本委員会です承した。

2025 春のオンライン開催でのアンケートで参加者の意見や収支状況を確認し、2026 春以降の開催形態を検討したいところであるが、会場確保などの準備を考えるとアンケート結果が出てからでは間に合わない可能性があることも指摘された。新開催循環は 2024 年中、もしくは 2025 年の早いうちに決定する必要がある。

本会は ENS や ANS など他学会と比較し、年会大会運営において会員の負担が大きいというコメント、また、本委員会での決定が各支部の負担になりかねない懸念についてのコメントがあった。各支部の負担が大きくなる理由の詳細化が必要である。現在、支部協議委員会へ年会大会開催の各支部、現地で負担と感じていることについて、山岡委員長が各支部の意見をまとめているはずなので、林委員長から再度山岡委員長に確認することとなった。

なお、開催現地としては、1 年半程度は会場確保、準備の時間が必要とのコメントがあった。

・「2025 春」（オンライン開催予定）における部会集会提案（計算科学技術部会）

板倉委員から、「2025 春」（オンライン開催予定）における計算科学技術部会の部会集会提案について紹介されたが、継続審議となった。

計算科学技術部会だけハイブリッド開催をしたいという意味なのか、等のコメントがあり、仮に他部会でも同様の希望が出た場合、オンラインで年会を開催している意味が不明確になるとのコメントもあった。運営のイメージ（配信範囲、参加費の負担確認、責任の所掌など）について再度計算科学技術部会で具体化し、再審議することとした。